

「クルアーンの奇跡」

©御徒町マスジドにおける 2018.2.2.金曜フトバ要約 by 杉本恭一郎

ムスリムのイマーン（信心）は強弱変化します。ジュンドゥブ・イブン・アブドゥッラーが伝えたところによると、「私たちは預言者と共にいた強靭な若者で、私たちはクルアーンを学ぶ前に信心を学びました。それからクルアーンを学び、私たちの信心は強化されたのです」（イブン・マージヤ Vol. 1, Book 1, Hadith 61 : サヒーフ）とあります。クルアーンを学ぶことで信心は強化され、アッラーの命令や禁止事項を守る善行へとつながるのです。

クルアーンの学び方は一様ではありませんが、信心を強化する上で有効な方法の1つはクルアーンをよく理解すること、とりわけクルアーンの奇跡について気づきを得ることです。4章 82 節いわく、「かれらはクルアーンをよく考えてみないのでしょうか。もしそれがアッラー以外のものから来たとすれば、かれらはその中にきっと多くの矛盾を見つけることでしょう」とあります。アッラーはクルアーンを反証テスト（嘘発見テスト）にかけなさいと、人に何度も繰り返し述べています（例：55章）。クルアーンは約1400年前に完成したアッラーの言葉（啓示）で、現在まで内容が全く変わっていないにも関わらず、当時では科学的にわからなかった印がたくさん記されているのです。

反証テスト 1 「太陽は軌道を移動しているのか？」 21章 33節「かれ（アッラー）こそは、夜と昼、また太陽と月を創造された方である。すべて（天体など）は軌道を移動している」。天文学と太陽物理学によると、太陽は太陽系の中心に浮かんでいるというよりは、秒速約240kmで宇宙空間を移動し、約2億年かけて、天の川銀河系中心の周りを1公転していることが近年発見されました。反証テスト 2 「淡水と海水の間に壁はあるのか？」 25章 53節「かれ（アッラー）こそは、2つの海を分け隔てられた方である。1つは甘くして旨い、もう1つは塩辛くして苦い。両者の間に壁を設け、完全に分離した」。海洋学によると、淡水と海水の間には汽水域や塩分躍層と呼ばれる「壁」があることが近年発見されました。反証テスト 3 「山々は杭なのか？」 78章 7節「また山々を、杭としたではないか」。平らな地面の上に三角の山がのっているではありません。山の地底構造は氷山のように深い根を持っていることが近年発見されました（アイソスタシーの原理）。反証テスト 4 「土の元素と精液は関係しているのか？」 23章 12節・13節「われら（アッラー）は土の元素から人間を創った。そしてわれらはかれを精液の一滴として、堅固な住みかに納めた」。泌尿器科学と土壤学によると、人間の精液には鉛、カドミウム、ニッケル、銅、鉄、亜鉛など微量元素が含まれており、これは土壤の成分元素と同じということが近年発見されました。反証テスト 5 「ヒトの性別は男性の精液が決めるのか？」 53章 45節・46節「本当にかれ（アッラー）は、男と女の組み合わせを創られた。精液を吹き込むことで」。遺伝学によると、男性の精液（XY染色体）が性別を決めていることが近年発見されました。反証テスト 6 「家畜のミルクは血液なのか？」 16章 66節「また家畜にもあなたがたへの教訓がある。われら（アッラー）は、家畜の腹の中の消化物と血液の間から、あなたがたに飲料を与える。そのミルクは飲む者にとり、清らかで快適である」。畜産学によると、胃を経て消化吸収された栄養素は、血液によって血管を通じて乳房の中にある乳腺細胞に運ばれ、その乳腺細胞が、血液中の栄養素を取り込んでミルクの成分を作り出すことが近年発見されました。反証テスト 7 「蜜を集めるのはメスの蜂だけなのか？」 16章 68節・69節「またあなたの主は、蜜蜂に啓示した。丘や樹木の上に作った屋根の中に巣を営み、（地上の）各種の果実を吸い、あなたの主の道に従いなさい。それらは、かの女（メス蜂）の腹の中から種々異なった色合いの飲料を出し、それには人間を癒すものがある」。（果実を吸い、主の道に従い、腹の中などすべてアラビア語の女性形が使用されている）。養蜂学によると、メス蜂だけが働き蜂として蜜集めなどをすることが近年発見されました（オス蜂は生殖行為だけ）。その他にも多数の印が記されていますが、これらは1つも反証（嘘だと証明）されておらず、クルアーンの奇跡（真理）を物語る証拠として現在も生き続けているのです。